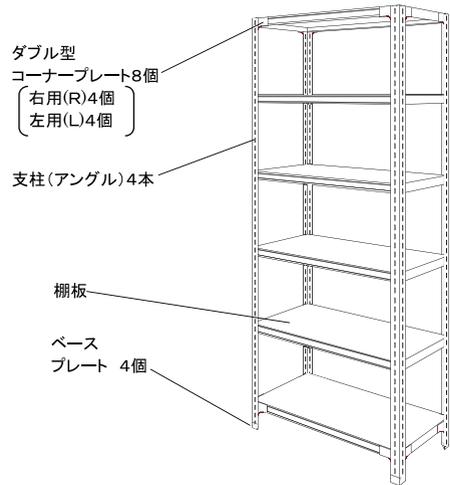


軽量ラック組立説明書(オープン型)

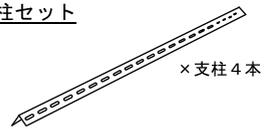
右記の順に従って正しく組立を行ってください。金属製品なので取扱いには十分注意し、手袋などの保護具を利用して行ってください。
また、完成後は注意事項を遵守し正しくお使いください。



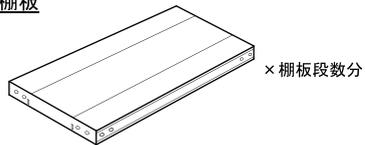
完成図

1台セット内容

支柱セット

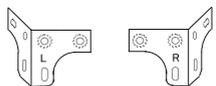


棚板



部品類

ダブル型コーナープレート



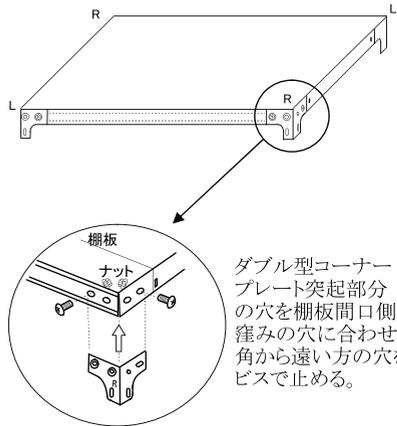
×左用(L)4個 ×右用(R)4個



×ベースプレート4個 ×M6ボルトナット100組 ×ドライバー1本

1

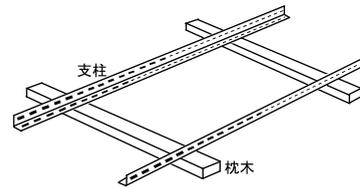
①棚板コーナー部にダブル型コーナープレートを取付、(刻印R、Lが間口側)ビスで固定。それぞれ四角に取付け、この棚板を2枚分(最上段・下段)組み立てる。



《Point》
組立は必ず広い場所で行って下さい。

2

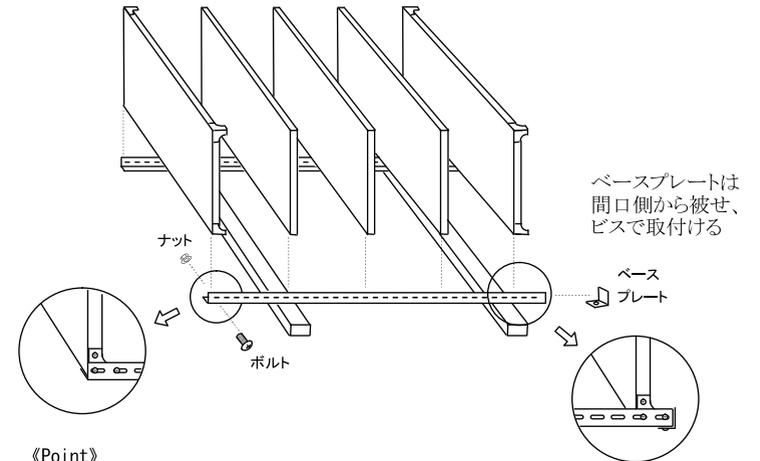
②支柱を向い合せに床に並べ、ビスが止め易いように枕木などを敷いてください。



《Point》
床や製品の傷防止に梱包ダンボールを床に広げてお使いください。

3

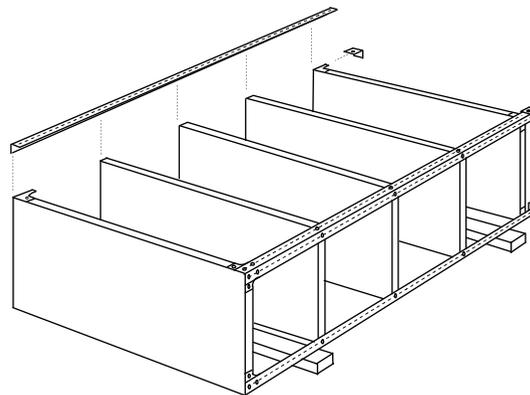
③支柱に棚板を仮止めします。最上段及び最下段は①で組立てた棚板を使い、最上段は支柱端と同一面に、最下段は下から2つの孔にセットしてください。また、最下段はベースを支柱外側から共締めにてセットしてください。その後、中段棚板をビスで仮止めしてください。(中段フック使用時は⑥にて)



《Point》
オプションの中段フック使用時は上下段棚板のみを取付け次へお進みください。

4

④残りの支柱2本も組み立てる。

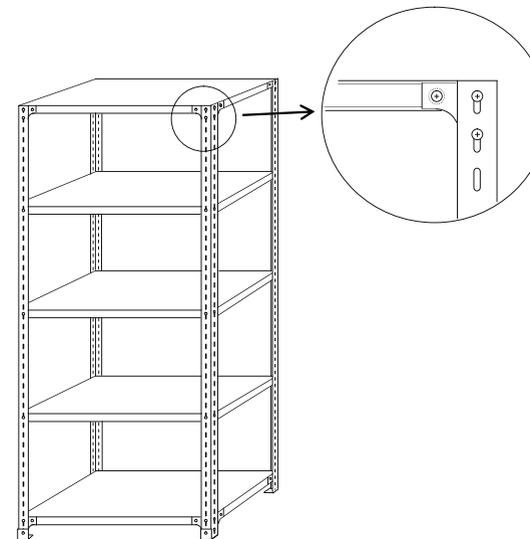


⑤その後、棚の歪みを注意しながら立て起こす。

《Point》
立て起こしの際は複数の方での作業を推奨します。棚の歪みや転倒の危険などが少なくなります。

5

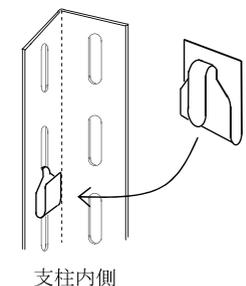
⑥全体のバランスを取りながら、各々ビスを増し締めしてください。尚、ビスの締めりが緩い状態で使用すると歪みや転倒の原因になります。※最後に必ずビスの締め忘れが無いか確認してください。



《Point》
床面が不安定な場所に設置しないで下さい。歪みや転倒の原因になります。

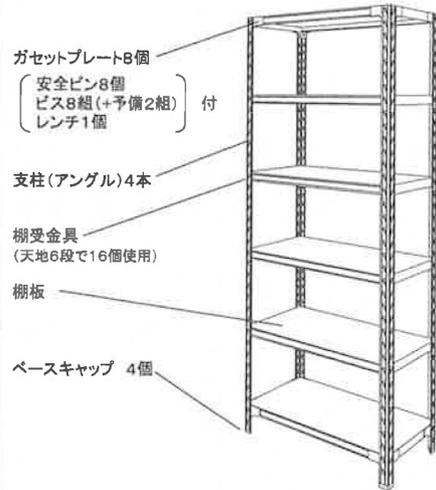
■中段フック (オプション)

中段の棚板をビス止めせず、簡単に棚板が取付可能なフックです。棚板段ピッチの変更が容易に行えます。(4個/段)



軽量ボルトレスラック組立説明書

右記の順に従って正しく組立を行ってください。金属製品なので取扱いには十分注意し、手袋などの保護具を利用して行ってください。
また、完成後は注意事項を遵守し正しくお使いください。



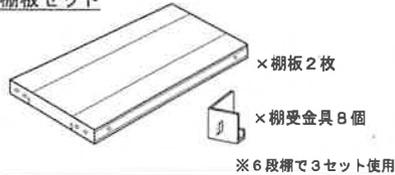
完成図

1台セット内容

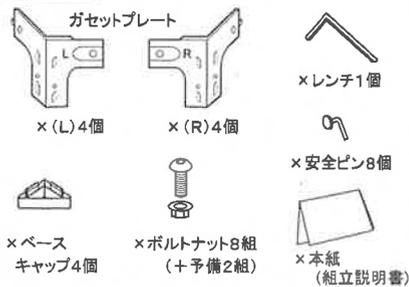
支柱セット



棚板セット

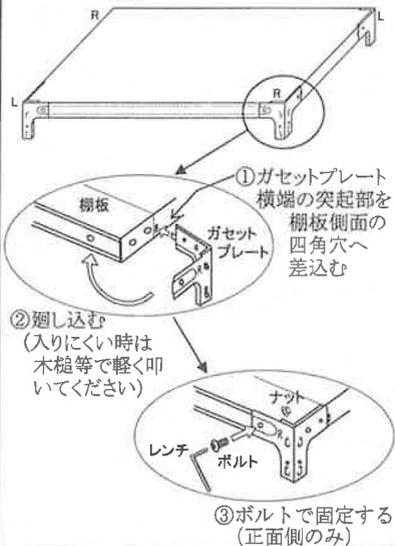


部品セット



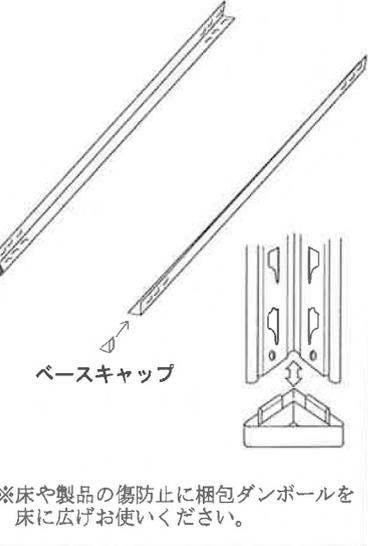
1 ※組立は必ず広い場所で行ってください。

①棚板コーナー部にガセットプレートをはめ、(刻印R⑤、L⑥が間口方向)ビスで固定。四角に取付け、この棚板を2枚分(最上段・下段)組み立てる。



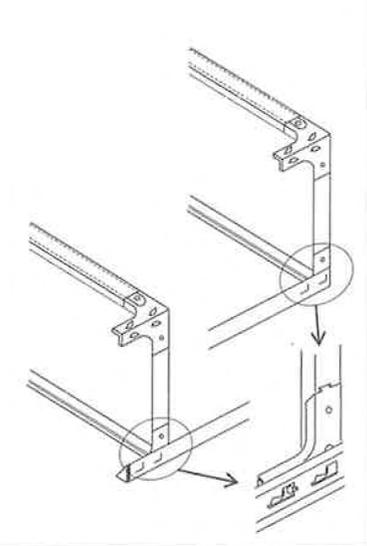
2

②支柱を向い合せに床に並べ、同時にベースキャップをはめ込む。
(支柱の上下に注意 ※丸穴を下側)



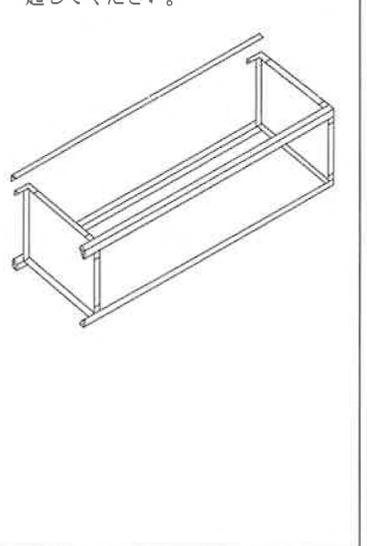
3

③ガセットプレートをつけた棚板を支柱に当てがって差し込み、下まで押し込む。(木槌などで軽く叩き込む。)

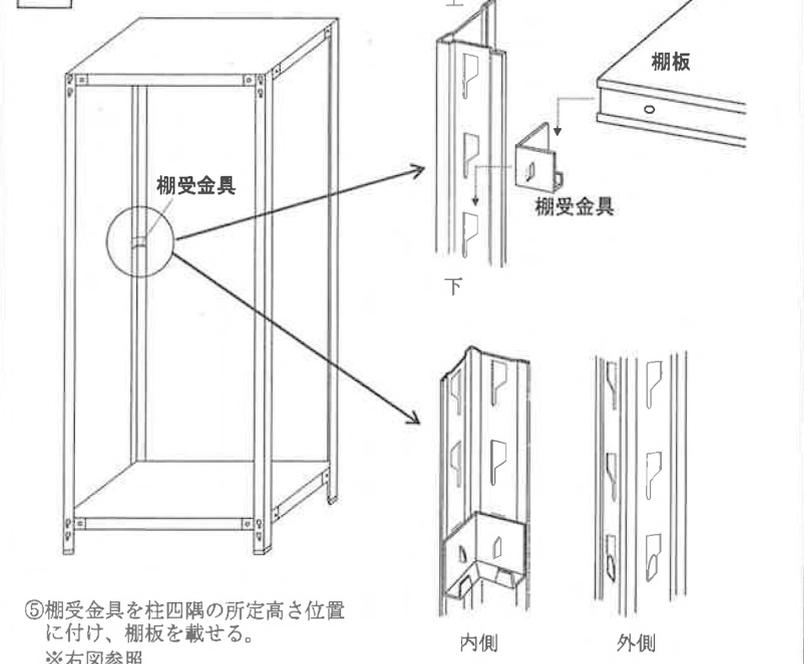


4

④残りの支柱2本も同時に組み立て、その後、立て起します。
※棚板が外れないよう注意しながら起してください。



5



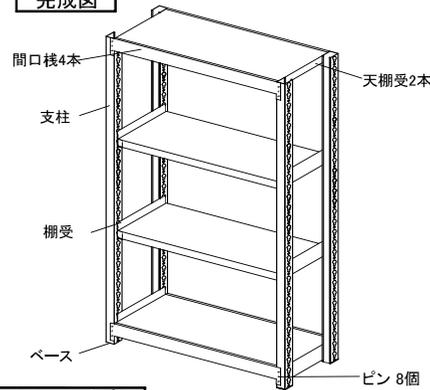
6 ※床面が不安定な場所に設置しないで下さい。



軽中量ラック組立説明書

右記の順に従って正しく組立を行って下さい。
金属製品なので取り扱いには十分注意し手袋などの保護具を利用行って下さい。(2名以上の組立を推奨します)
また、取扱説明書の注意事項等を遵守し、正しくお使い下さい。

完成図

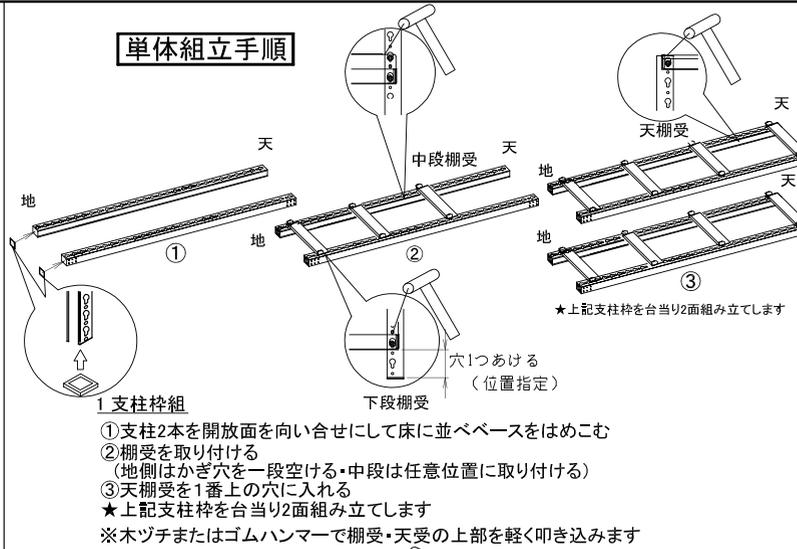


1台のセット内容

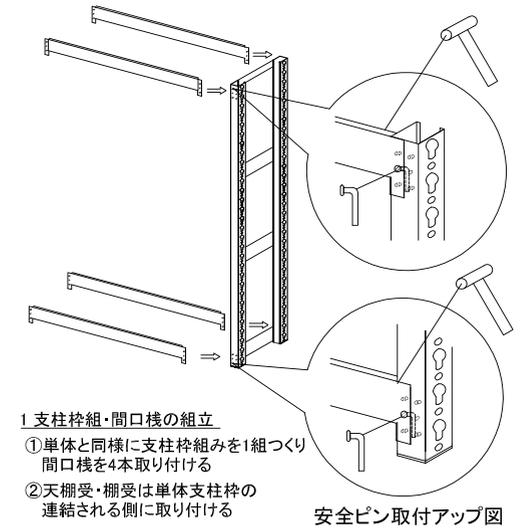
単体の場合	増連の場合
支柱 支柱×4本 	支柱 支柱×2本
間口棧 間口棧×4本 	間口棧 間口棧×4本
棚板 棚板×(天地段数) 	棚板 棚板×(天地段数)
天棚受・棚受・部品 天棚受×2本 棚受(天地段数-1)×2 ベース×4個 安全ピン×8本 組立説明書(本編) 	天棚受・棚受・部品 天棚受×2本 棚受(天地段数-1)×2 ベース×2個 安全ピン×8本 組立説明書(本編)

※組立時には木ヅチまたはゴムハンマーをご用意ください

単体組立手順



増連組立手順



安全ピン取付アップ図

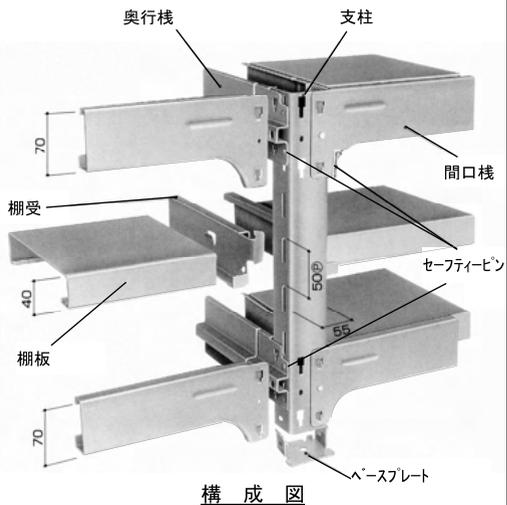
②単体との連結部にも安全ピンを入れます

安全ピン取付アップ図

※組立は必ず広い場所で行って下さい。※床や製品の傷防止に梱包段ボールを床に広げてお使い下さい。

中量ボルトレスラック組立説明書

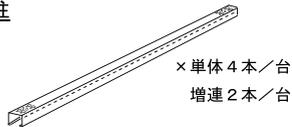
右記の順に従って正しく組立を行ってください。金属製品なので取扱いには十分注意し、手袋などの保護具を利用して行ってください。また、完成後は注意事項を遵守し正しくお使いください。



構成図

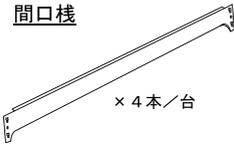
1台セット内容

支柱



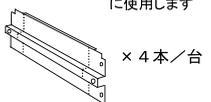
×単体4本/台
増連2本/台

間口棧



×4本/台

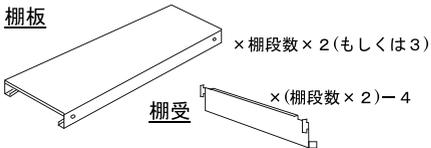
奥行棧



最上段と最下段に使用します

×4本/台

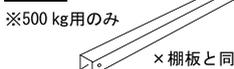
棚板



×棚段数×2(もしくは3)

×(棚段数×2)-4

補強棧



※500kg用のみ

×棚板と同数

部品



×ベースプレート(単体4個,増連2個/台)

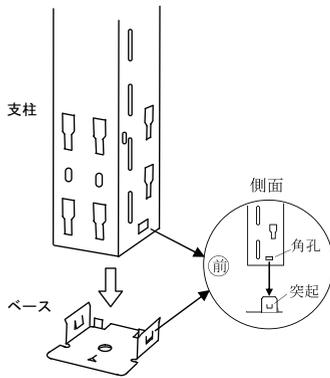


×セーフティピン(16個/台)

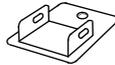
1

※組立は必ず広い場所で行ってください。

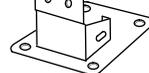
①支柱下部にベースをはめ込む。ベースの突起部が支柱下部の角孔に納まるよう押し込んでください。



アンカーベース (オプション)

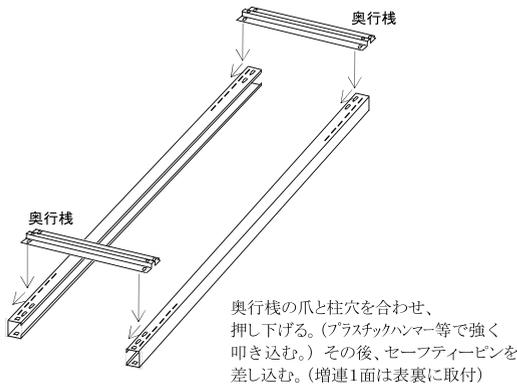


キャスターベース (オプション)

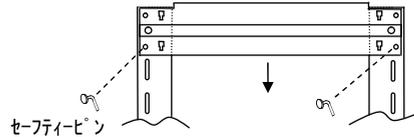


2

②支柱を内向きに向い合せに床に並べ、柱上下に奥行棧をはめ込み、支柱棒を作る。(単体2面、増連1面)



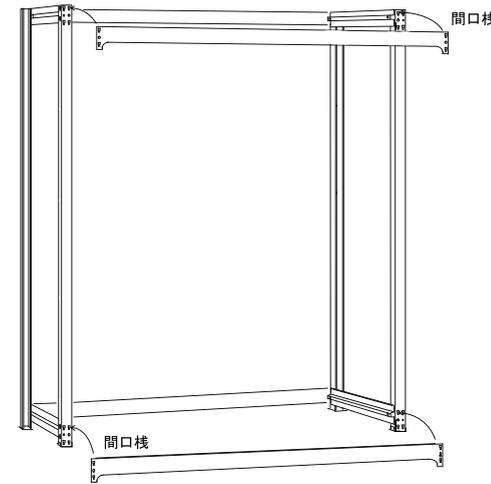
奥行棧の爪と柱穴を合わせ、押し下げる。(プラスチックハンマー等で強く叩き込む。) その後、セーフティピンを差し込む。(増連1面は表裏に取付)



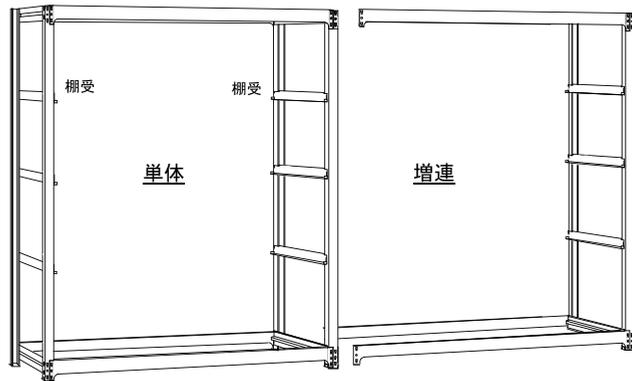
3

③支柱棒2面を奥行棧側が向い合わせになるようにして、支柱上下部前後に間口棧をはめ込む。(プラスチックハンマーなどで軽く叩き込む。) 間口棧の支柱部分にセーフティピンを差し込む。

※この時ピンが入りにくいようであれば支柱に間口棧が正しく差し込まれていないので、確実に差し込んでください。



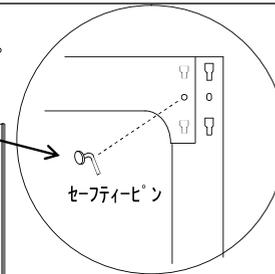
4



④棚受を支柱のスリット穴に任意高さ位置へ左右同じ段高さになるよう取り付ける。

5

※床面が不安定な場所に設置しないで下さい。



⑤棚板を上下(天地)段は奥行棧に中間部は棚受に載せます。(奥行方向に480D,620Dは2枚、700D,910Dは3枚並べます) [⑥500kg時は棚板を載せる前に補強棧を棚板のほぼ中央当りに補強棧が動かないように棚板を載せてください。]

※間口棧、奥行棧のセーフティピン取付と全体の歪みやバランス等を確認してください。